

津山市選挙管理委員会委員及び同補充員選挙について

12月定例会では、標記の選挙が行われ、選挙の方法を議長の名指推選と決定し、次の方が当選されました。

●選挙管理委員会委員

- 津山市院庄587番地1 安東 弘子(71歳)
- 津山市東新町22番地 谷口喜美恵(69歳)
- 津山市堀坂1126番地1 内田 晶二(64歳)
- 津山市東田辺1335番地1 有木 高志(64歳)

●選挙管理委員会委員補充員

- 津山市小原632番地 清水 厚子(60歳)
- 津山市中北下1496番地2 田村 修(59歳)
- 津山市坪井町37番地 今井 元子(60歳)
- 津山市高野本郷1278番地1-1 中島 健(60歳)

12月定例会で同意した人事案件

12月定例会では、左記の人事案件が提案され、次のとおり同意、推薦を決定しました。

●人権擁護委員候補者の推薦について

- 津山市南方中131番地1 岩佐 眞孝(61歳)
- 津山市吹屋町21番地 小椋 英子(61歳)

12月定例会に提出された請願の審議結果

- 姫新線・因美線における快速列車の一部を普通列車へ変更することに関する請願書 ↓採択
- 介護職員処遇改善加算の継続、拡充等を求める請願 ↓採択

議会活性化調査特別委員会視察報告



11月7日に広島県三次市において、「議会の活性化」について視察研修を行いました。三次市では平成16年の市町村合併以降、議会の活性化を目指し、質問の一問一答方式の導入やケーブルテレビによる議会の生中継等を行っており、様々な取り組みを進める中で議会基本条例策定への機運が高まり、平成22年3月に条例を制定しました。

その後、委員会への請願陳情者の出席及び意見聴取や予算決算常任委員会の設置、あるいは議会報告会を年1回19会場で実施するなど、積極的な議会活動を推進しています。視察研修中、議会基本条例制定に伴うメリット・デメリットや議会報告会の運営方法等について活発な質疑応答が行われ、充実した視察研修となりました。

4月20日(土)、初めての議会報告会を開催

議会活動に対する透明性の向上や、議会の活性化に向けた取り組みの一環として、来たる4月20日(土)に議会報告会を開催いたします。この報告会では、議会における審議状況の報告や、市民の皆さんと市政に対する懇談を予定しております。会場は、津山市総合福祉会館と久米公民館の2会場で、開始は両会場とも午後6時半からを予定しています。市民の皆さんの多数のご来場をお待ちしております。



11月末から始まった12月定例会でしたが、大きな特徴は、長年の懸案事項であった「土地開発公社の解散スキーム」とあわせて、これから30年の財政見通しなどが「提案・説明」された定例会でした。今までは、10か年の総合計画、255年くらいの『短期・中期』の財政見通しが発表されてきましたが、30年先を見据えるというのは初めてのことで、本会議、委員会の論議など議会としても、熱心に「財政の見直し」などの意見が出されました。

3月定例会での「最終結論」というスキームですが、長期展望に立った「財政のあり方」を議会としての役割の中で、大いに論議し、市民の皆さんのご意見も頂きたいと思えます。(弘)

市民の皆さんに紙面で市政の動きと議員の活動をお伝えたいです。会派視察報告は字数の関係で骨子だけです。先進地の様子が伝わりますでしょうか。(節)

津山の名物って。と、食べ物なら肉も旨いし、自然薯もある。建1300年事業のおもてなしに「ころろ飯」がどうだろうか。食べ物も戦略にと、一役かって貰えば？(靖)

今議会2つのテーマを取り上げ、2番目に「協働のまちづくり」で当局に質したが、数年前の某OB議員との質疑応答議事録に比して後退気味の観あり残念・・・。(昌)

広報調査特別委員会メンバー

- ◎末永弘之 ○田口慎一郎
- 岡田康弘、黒見節子、竹内靖人
- 野村昌平、原 行則、吉田耕造